



# news aliança

IMPRESSO



Dia do Coração



Guest Speaker



Promoção Cultural



Artigo



Curso Marugoto



Coral



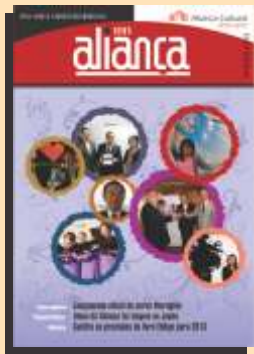
EAD

Língua Japonesa

Promoção Cultural

Biblioteca

**Lançamento oficial do curso Marugoto**  
**Aluna da Aliança faz viagem ao Japão**  
**Confira as previsões do livro Ekikyo para 2013**



**Aliança Cultural**  
Brasil · Japão

Rua Vergueiro 727 - 5º andar  
01504-001 - Liberdade - São Paulo - SP  
Tel.: (11) 3209-6630  
alianca@aliancacultural.org.br

Presidente  
Anselmo Nakatani

Vice-presidente  
Roberto Hideo Hirai

Diretor Administrativo  
Jorge Yoshio Sawasato  
Antão Shinobu Ikegami (adjunto)

Diretor de Finanças  
Mario Takemi Shimabukuro  
Rosana Nakano (adjunto)

Diretor Cultural  
Marco Antonio Meneghetti  
Alexandre Nishioka (adjunto)

Diretor de Planejamento  
Luz Bersour

Diretor de Patrimônio  
Sussumu Niyama

Diretora de Educação  
Tizuko M. Kishimoto  
Maria do Carmo M. Kobayashi (adjunto)

#### CONSELHO SUPERIOR

Presidente  
Hideki Hirashima

Vice-Presidente  
Aurélio Nomura

Secretário  
Miguel Parente Dias

#### REDAÇÃO

Direção editorial e reportagem  
Erika Yamauti

Comentários e sugestões  
faleconosco@aliancacultural.org.br

#### Colaboração

Alice Tsuchiya  
Antonio Carlos M. Fernandes  
Claudio Shimizu  
Gabriel Inamine  
Hiroko Nishizawa  
Jaqueline M. Nabeta  
Kendi Yamai  
Lilian Gonçalves  
Luzia Massae Takayasu  
Patrícia Yumi Isome  
Yoko Nakaema

#### Jornalista responsável

Erika Yamauti  
Mtb 32015

#### PRODUÇÃO GRÁFICA

Projeto gráfico e editoração  
nk2 branding+design

Impressão Tiragem  
Gráfica Paulo's 2.500 exemplares

## 日本ブラジル中央協会創立80周年記念にあたり

\* por Shigeaki Ueki



Divulgação

私の国、ブラジルの良いところも悪いところもすべて知り尽くしておられる筒井さんが今、重要なポストを占めている日本ブラジル中央協会の80周年記念に、私の祝意を表します。80年前の時代を見ると、貴協会は1929年に始まった世界恐慌の真ただ中に設立されました。この時代は世界の多くの国で強い保護主義とナショナリズムが台頭し、甚大な物質的損害に加え、6,000万人の人命を犠牲にした第2次世界大戦でそのピークに達した時代でした。1932年のアジアの独立国は日本を含め3カ国に過ぎませんでした。しかし、今日アジアの独立国は50カ国を越えています。1932年には日本は既に先進国とみなされていました。

アメリカ大陸においては殆どすべての国は既に独立国でしたが、米国を除く他の国はブラジルも含め単なる1次産品の生産国、輸出国に過ぎませんでした。ブラジルも110年以上前に独立国でしたが南米の他の国同様、コーヒー、砂糖、肉その他1次産品だけの輸出国でした。1930年まで、ブラジルの政治家はサンパウロ州、ミナスジェライス州の農業セクターの少数独裁者およびヨーロッパ、特にフランス軍隊と同盟関係を持つ軍の将校と強く結びついていました。他方ブラジルのサンパウロ、ミナス州以外の地域の新設の兵学校は、国の可能性につき知識を持ち資本主義原理に基づく経済の多角化と工業化を支持する若い軍人の養成を始めました。これらの若い軍人達はエネルギー分野の開発を進める一方、製鉄、カセイソーダ、塩素、合成ゴムの工場を建設し、工業化を歩み始めたジュゼリオ・ヴァルガス大統領を支持しました。1935年に共産主義の軍人達による反乱があったのですが、祖国の裏切り者とみなされました。その結果大多数のブラジル軍人の強い反共思想が、1960年代の中頃にブラジルが“大きなキューバ”になることを阻止しました。1964年から85年まで続いた軍政大統領のカステロ・ブランコ、メジシ、ガイゼル、フィゲイレドこそ、1920年代のその時の若き将校達だったのです。

ベルリンの壁の崩壊に象徴された冷戦の終結で、世界経済のグローバル化は一挙に進み、国際取引は経済の速度を倍化させました。今日のグローバル化された金融市場が現実の姿です。通信技術の想像を超える進歩は、世界のすべての国の社会生活と政治に大きな影響を与えました。アラブの春はその大きな徴候であります。米国のサブプライム・ローン危機とヨーロッパ危機が起こるまで、中国、韓国、その他の多くの国が著しい経済成長を達成したにもかかわらず、日本もブラジルも満足すべき経済成長とはいえない状況が続きました。1964年東京オリンピック後、世界が日本に感じた称賛の念は、戦争の悲劇と敗戦を身近に経験し国の経済復興のため辛抱強く一所懸命に働く日本企業の指導者に向けられたものでした。当時の日本のリーダーの多くは、ブラジルと日本との間のより深い経済関係を構築するための真の大使であったといえます。また、彼等はグローバルな視野と孤立主義者になってはならないという意識を持っておられました。ブラジルが多くの困難な問題を抱えた時期であったにもかかわらず、彼等はブラジルの潜在能力を信じ、ブラジル・日本関係に大きな衝撃と推進力を与えて下さったのも彼等でありました。

その後ブラジルは何十年も続く大きな困難に遭遇し、日本にパートナーを求め続けました。その後ブラジルは何十年も続く大きな困難に遭遇し、日本にパートナーを求め続けました。その理由は、次の世代の日本企業の指導者達は先達の指導者のような視野を持たず、ブラジルを不信の目で見始めたからであります。ブラジルが困難に苦しむこの時期でも欧米企業がブラジル投資を続ける中、ブラジルに進出していた多くの日本企業は逆に撤退しました。より現実的な分析に基づき、欧米の企業は常にブラジルへの最善の投資機会を求めて来ました。そして欧米企業にとって最善の投資機会は、まさしくブラジルが経済危機にある時でした。残念ながら日本企業はそういう考えを持っていなかったといわゆるを得ません。タイミングがどんなことにも基本条件だとすれば、我々は経済だけではなく、その国の社会や政治局面をもっと注意深く勉強する必要があります。

ブラジルでまた世界のいろいろな国で活動する日本企業は、タイミングを見つけることにより長い時間をかけながら、さらにすべての局面を調査研究することが必要であるというのが私の意見です。売りの最良のタイミングは日本企業が買う時が正しくその時であり、逆に日本企業が売る時は絶好の買い時であると、北米の友人から聞いたことがあります。日本人の子孫であるブラジル人として、日本企業に対する彼等の示唆に富んだ話は私をがっかりさせるものでした。

しかし、認めざるを得ませんでした。我々の国が大きな困難に直面する度に、日本の企業家や役員達に対して、私はブラジルは世界の4流国ではないといい続けました。しかし、残念ながら多くの日本の企業家は、ブラジルを4流国だという目で見ていました。その一方ブラジルが少し良くなり、我々の有価証券で利益が見込める金融取引に関心を持つ世界の銀行から称賛を受け出すと、日本の企業家は一転、ブラジルが既に世界の1流国であるかの如く錯覚することもありました。以前はアジアといえれば我々の関心はもっぱら日本に向けられていたように、ところが今日では、ブラジル製品の最大のバイヤーとしてアジアの中でもより多くの関心が中国に集まっています。しかし、例えそうであっても両国民の利益のため、ブラジル・日本間の協力の余地はなお大きいと思います。何故なら我々ブラジル人は、日本企業の持つ高い技術力と取引に当たっての誠実さを高く評価しているからです。

話は変わりますが50年以上の間、私は移民というテーマをブラジル・日本両国の議題から削除しようと努力してきました。何の差別もなく彼等の子孫は等しくブラジル人であるということが当たり前になっているドイツ人、イタリア人、アラブ人達は、両国間の議題から移民というテーマがずっと昔に無くなっていきます。ブラジル・日本関係では残念ながらまだ果たされていません。約20年前、ブラジルの新聞で「出稼ぎ」の記事を読んだ時、両国の議題からそのテーマを取り除くよう、私の心配を書面にして投稿しました。何故なら「出稼ぎ」のテーマが両国共通の心配の種になれば、両国関係のイメージダウンになるからです。この件でも私はなにも果たせませんでした。日本は高い技術力に加え、大きな貿易収支と経常収支の黒字という強い経済指標を持つ国です。しかし、人口の高齢化、理想的生活水準に達したという国民の満足感、その結果進歩への意欲の低下などを悪化の原因として深刻な財政赤字に直面しています。今の日本のリーダーを、私が1960～



#### Ajude o Planeta

Cadastre-se para receber a edição digital dessa revista, enviando um e-mail para alianca@aliancacultural.org.br

## ブラジル・日本関係を考える

70年代に出会ったリーダーと比較すると、今日のリーダーは2流の国際俳優だといわざるを得ません。他方、私は日本は未だ裕福な国であり、国民も良く働き、教育も受け、世界のリーダーになれるあらゆる条件を備えた国だと思います。そのために、特に日本のリーダーは果たすべき大きな、かつ重要な役割を持っています。それは傲慢、ナショナリズム、孤立主義といったものではなく、もっと謙虚でもっとグローバルなものでなければなりません。私は日本のリーダーが、日本の主要パートナーを批判する記事を読み心配しています。ブラジルはグローバルな発展への飛躍の機会を逃しています。その点では日本も同じです。

ここ20年間ブラジルの成長リズムは停滞していますが、その主要な理由は過剰消費と低水準な投資にあります。ブラジルは公共投資と企業投資を増加させるための税制改革と、生産性を向上させるための教育改革、および国際競争力を高めるための労働法改制を含む構造改革が急務であります。日本ブラジル中央協会の創立後の最初の数十年の活動を要約すると、日本とブラジルの社会、政治、経済情勢にも原因があるのですが、両協会が両国の関係強化にさほど貢献して来たとは思えません。1950年から80年代が両国の強い経済協力の黄金時代でありましたが、その後日本のバブルが弾け、ブラジルの失われた数十年が始まりました。その間、両国の関係は社会関係のみが優先される時代になりました。

他方、この間ブラジルは中国、韓国との経済関係を強化させました。80周年記念を迎え、貴協会は今後両国のために何がより重要なテーマかを実際に考え、両国間の関係強化に大きな貢献が出来るかと信じています。私の意見を述べますと、ブラジル人口の0.5%に過ぎない100万人強の日系ブラジル人に過剰に焦点を当てることは、両国民間の協力の、より肥沃な分野を求めるための時間を浪費に回してはいないかと危惧します。ブラジル・日本両国は、すべての他の国にも共通する財政赤字という大きな問題を持っています。ブラジルが2050年には経済規模で世界第4位になるといわれて10年が経ちます。しかし、最近の研究では、国際競争力を強化するための構造改革の遅れから2流国にとどまるのではないかと意見もあります。ブラジルが保有する豊富な天然資源にもかかわらず、我々には未だ多くのやらなければならないことがあります。そのためには、友好国の協力が必要です。その友好国の中の筆頭は日本です。

最後に、ブラジルが今、直面する多くの問題にもかかわらず、私はブラジルの将来に楽観主義者であります。それはブラジルが広大な国土を持つ大陸国家であるにもかかわらず、唯一の共通言語とユダヤ人とアラブ人を含む人種の混血化により人種問題が存在しないこと、狂信的な宗教もなく豊富な天然資源を保有し、今日、世界でも数少ない食糧とエネルギーの純輸出国である等の理由からです。

私は2050年にブラジルが世界第4位の経済力を持つ国になるという各種調査機関の意見に賛同しています。もし、日本もこの意見に賛同されるなら、ブラジルと日本の協力分野は今後無限だと信じます。

◇ (シゲアキ・ウエキ氏は1974年にガイゼル政権で鉱山エネルギー大臣、後にペトロブラス総裁を務めた。訳：筒井茂樹 当協会常務理事)

**Shigeaki Ueki foi Ministro das Minas e Energia de 1974 a 1979, presidente da Petrobras de 1979 a 1984, presidente do Conselho da Petroleum Finance Corporation (Washington, EUA), de 1985 a 1990. É empresário e membro do conselho de diversas empresas e instituições, e colaborador da Aliança Cultural Brasil-Japão.**

\* Para ler a versão em português deste artigo, acesse o site [www.aliancultural.org.br](http://www.aliancultural.org.br)

## Aluna é contemplada com viagem ao Japão

A aluna da unidade São Joaquim, Nivea Masumi Suguinoshita (Básico 2), foi a contemplada da promoção “Viagem ao Japão”. Ela indicou 5 novos alunos para a Aliança e foi premiada nesse concurso, que encerrou as comemorações dos 55 anos da Aliança Cultural Brasil-Japão.

Nivea ganhou uma passagem de ida e volta ao Japão pela companhia Air Canada, além de um curso de língua japonesa de uma semana no Interculture Institute of Japan, sediado em Tokyo, no Japão, com hospedagem em sistema de *home stay* (apoio da Century Travel).

“Estou aprendendo japonês para ir ao Japão e me sinto muito feliz, porque foi a oportunidade para minha família voltar a estudar. Vou interagir com as pessoas e aproveitar a viagem, colocando em prática o que aprendemos nas aulas”, comenta a aluna, que é publicitária.



A aluna Masumi já foi para o Japão e promoção poderá ter continuidade

“Ficamos muito contentes com o resultado dessa promoção. Esperamos que a aluna aproveite bastante e que possamos premiar mais um aluno no ano que vem”, adianta o presidente da Aliança, dr. Anselmo Nakatani.

A representante da Air Canada, Sandra Parsseto, ressaltou a importância da nova parceria: “institucionalmente, é muito importante para a companhia apoiar essa iniciativa da Aliança”, ressaltou.

A entrega do prêmio foi realizada em outubro, com a presença da diretoria da Aliança e de representantes da Century Travel e da Air Canada. A Aliança agradece a todos os participantes da promoção e parabeniza a aluna!

## Aliança inicia implementação de aulas em EAD

Os alunos do curso Kodama (Básico) terão um novo recurso didático para 2013, que são as aulas de reforço online. “O EAD está cada vez mais popular e as escolas estão adotando a tecnologia. Além da Aliança ampliar a abrangência do seu ensino, podendo atingir pessoas em outras

cidades, estados e países, o aluno se sente mais seguro e terá mais condições de fixar as aulas, pois poderá assistir o conteúdo a qualquer momento, em qualquer lugar”, comenta o ator e apresentador Kendi Yamai, que dirigiu as gravações.



O projeto envolveu professores e a diretoria da Aliança para criação de uma nova linguagem

“A criação e a montagem dos roteiros foi muito importante. É o primeiro passo para implementarmos essa nova tecnologia para os alunos”, explica a diretora geral de ensino da Aliança Cultural Brasil-Japão, Jaqueline Mami Nabeta. O projeto foi conduzido pelo diretor de Finanças, Mário Takemi Shimabukuro, e teve a coordenação da professora Jaqueline, com a participação dos professores Márcia Miyasaki, Bráulio Augusto Freire, Hiromi Toyama e Kotoko Nakanishi.

# Professor Akira Kono conversa com alunos

Considerado um dos mais importantes especialistas japoneses em língua portuguesa, o professor **Akira Kono**, da Escola de Letras e Cultura da Universidade de Osaka, participou de um encontro informal e bem humorado com os alunos e professores de língua japonesa da Aliança Cultural Brasil-Japão, em setembro, na unidade Vergueiro.

A ideia do encontro partiu do próprio professor Kono, que buscava uma



Alunos e professores no bate-papo à tarde

oportunidade para encontrar os alunos que estão estudando o japonês no Brasil, para compartilhar as experiências no ensino e na aprendizagem das línguas japonesa e portuguesa.

“Estou muito contente com a expansão da língua japonesa no Brasil, porque hoje o ensino do idioma não é mais voltado para a comunidade, e sim para todos os brasileiros interessados. A língua portuguesa ainda é considerada exótica no Japão, mas acredito que o professor estrangeiro pode contribuir de forma positiva para alunos brasileiros, e vice-versa”, aponta o professor.

## Sobre o professor

Akira Kono é professor de Língua Portuguesa e Linguística e autor de diversos livros e artigos sobre a língua portuguesa e seu ensino no mundo, e sobre aspectos da



Palestra reuniu alunos do curso de Introdução à Tradução

cultura brasileira, como a literatura de cordel. Interessou-se pela língua portuguesa através do contato com a música brasileira, e iniciou seus estudos aos 18 anos na Universidade de Sofia. “A imagem do Brasil para os japoneses ainda é muito vaga, e existem muitas diferenças culturais entre os dois países. Entretanto, considero que isso enriquece o nosso relacionamento bilateral, que é muito importante para o Japão”, finaliza Kono.

# Hirofumi Ikesaki faz palestra aos alunos do Avançado



Ikesaki falou sobre sua história, cultura japonesa, entidades, carreira e empreendedorismo

Uma verdadeira lição de vida para os alunos do curso Avançado, que tiveram a oportunidade de conhecer mais da história do empresário japonês **Hirofumi Ikesaki**, na palestra Guest Speaker.

“É um empresário de sucesso, que tem muito a nos ensinar. Só conhecia pouco de sua história e fiquei impressionado com o que ouvi”, constata o presidente da Aliança, dr. Anselmo Nakatani.

Natural de Kumamoto, no Japão, Ikesaki chegou ao Brasil em 1934, aos seis anos. Em 1954, o empresário abriu o primeiro “supermercado” de produtos de beleza do país, quando percebeu o surgimento de uma nova oportunidade no mercado e hoje tem mais de 5000 funcionários. “Em qualquer coisa que você decida fazer, tem que se dedicar. Se você mesmo não se esforça, nada vai para a frente”, disse Ikesaki aos alunos.

# Aliança inaugura salas de convivência

Atendendo aos desejos demonstrados pelos alunos numa pesquisa de opinião realizada recentemente, a diretoria da Aliança Cultural Brasil Japão decidiu inaugurar Salas de Convivência, em caráter experimental.

Na unidade Vergueiro, o local escolhido é a sala 609, localizada no 6º andar, que estará disponível das 9 às 20 horas de segunda à sexta. A chave deve ser retirada na Secretaria, que fica no 5º andar do prédio.

Já na unidade São Joaquim, o Auditório será utilizado como Sala de Convivência, todos os dias, com exceção de sábado (o dia todo) e terça-feira à tarde. Os alunos podem frequentar o espaço livremente, nos horários determinados.

Nesses espaços os alunos poderão conversar com os colegas, fazer novas amizades, estudar, acessar a internet via Wifi ou simplesmente descansar.

# Curso Marugoto é lançado oficialmente em SP

A Fundação Japão e a Aliança Cultural Brasil-Japão realizaram em outubro um evento oficial de lançamento do curso de língua japonesa "Marugoto", no restaurante Shintori, em São Paulo, reunindo cerca de 50 convidados.

Elaborado no Japão pela equipe de professores da Japan Foundation, a ideia do Marugoto é ensinar o japonês do dia a dia, aliado à cultura japonesa, abordando fatos próximos, como a família ou a comida predileta dos alunos.

"Essa parceria entre a Aliança e a Fundação Japão pode ser um bom exemplo de novos projetos para as empresas japonesas que atuam no Brasil", analisa o presidente da Aliança, dr. Anselmo Nakatani.

O novo cônsul geral do Japão em São Paulo ressaltou a importância do convênio entre as duas entidades. "É muito bom saber que a Aliança e a Fundação se uniram para iniciar

esse curso. A colaboração é importante não apenas para a divulgação da língua japonesa, mas também para a política externa do Japão e do Brasil", explica o cônsul Noriteru Fukushima.

O diretor geral da Fundação Japão, Akira Fukano, falou sobre a metodologia inovadora do curso. "O Marugoto adota o 'JF Standard for Japanese-Language Education' (JFS), baseado no QEER (Quadro Europeu Comum de Referência para Línguas Estrangeiras), que é utilizado no ensino de língua estrangeira na União Européia. Felizmente o curso tem sido bem aceito e estamos recebendo muitos interessados", comenta Fukano.

Para esse semestre, duas turmas foram formadas no nível introdutório. As inscrições para as próximas turmas de 2013 já estão abertas. Mais informações nos sites [www.fjsp.org.br](http://www.fjsp.org.br) ou [www.aliancacultural.org.br](http://www.aliancacultural.org.br).

Para quem se destina?

#### Módulo Katsudo

- Quer aprender a falar japonês e utilizá-lo em seguida;
- Quer conseguir falar sobre assuntos simples em japonês quando for viajar ao Japão;
- Tenha interesse na cultura japonesa;
- Seja muito ocupado e tenha tempo limitado de estudo, desejando começar o curso com treinos de conversação.

#### Módulo Rikai

- Quer aprender mais firmemente a estruturação e o vocabulário da língua japonesa;
- Quer continuar a estudar a língua japonesa até o nível intermediário;
- Sabe falar a língua japonesa, mas possui deficiência na parte gramatical, leitura e escrita;
- Quer prestar o Exame de Proficiência de Língua Japonesa.



Evento oficial de lançamento do curso Marugoto teve brinde e apresentação da diretoria da ACBJ, com participação de autoridades e convidados

## Palestra de segurança na unidade São Joaquim

A violência está cada dia mais presente na vida dos brasileiros, e infelizmente, o problema da segurança pública no bairro da Liberdade, em São Paulo, não é uma novidade. Em outubro, a Aliança realizou a palestra "Dicas de Segurança".

A palestra foi ministrada pelo Tenente Coronel Marcelo Pignatari, com o objetivo de alertar alunos, professores, funcionários e a comunidade da região,

para que todos possam aprender a lidar melhor com esta situação, conhecendo dicas básicas para proteger a si mesmo, além de sua família e amigos.

**Evento teve presença de alunos e professores da Aliança com dicas valiosas**



# Como será a sorte para o ano de 2013?

\* Por Hiroko Nishizawa

O calendário asiático para a leitura da sorte foi influenciado pelo livro Ekikyō, da China antiga. Apresentamos aqui uma pequena parte do prognóstico dado pela organização japonesa Takashima Ekidan, que possui uma tradição de mais de cem anos na predição da sorte, sempre ocupando a posição de best-seller.

Kauemon Takashima (1832-1914) foi um empresário que viveu no Japão do final do Período Edo ao Período Meiji. Estudou Ekikyō por hobby e influenciou os funcionários de alto escalão dos governos chinês e japonês.

**Goou Dosei:** 2013 • 2004 • 1995 • 1986 • 1977 • 1968 • 1959 • 1950 • 1941 • 1932 • 1923 • 1914

O novo ano trará oportunidades inesperadas. Mantenha postura sempre humilde no relacionamento humano. Não deve buscar vantagens de modo forçado, mas pondere sobre o equilíbrio com os arredores e priorize a edificação de uma relação de confiança. Evite reformas na residência, mudanças ou troca de emprego/profissão.

**Roppaku Kinsei:** 2012 • 2003 • 1994 • 1985 • 1976 • 1967 • 1958 • 1949 • 1940 • 1931 • 1922 • 1913

Ano de grande sorte. Priorizando o trabalho e vivenciando a sua capacidade e experiência, poderá dar um salto e obter grandes resultados. Cuidado com excesso de confiança ao falar e em especulações ambiciosas. Ser demasiado otimista na previsão pode acarretar invejas alheias. Cuidado com problemas de saúde oriundos de coração, pressão arterial ou estresse.

**Shichiseki Kinsei:** 2011 • 2002 • 1993 • 1984 • 1975 • 1966 • 1957 • 1948 • 1939 • 1930 • 1921 • 1912

Será um ano em que o seu conceito se elevará com a manifestação de sua característica individual e suas experiências. Na empresa, o seu rol de relacionamen-

to trará oportunidades para mudança. Muito cuidado com indecisões de ordem sentimental, atitudes e falas de meio termo e atos arbitrários. Cuidado com serviços que envolvem dinheiro e gastos desnecessários só para manter a aparência. Boa proposta de casamento.

**Happaku Dosei:** 2010 • 2001 • 1992 • 1983 • 1974 • 1965 • 1956 • 1947 • 1938 • 1929 • 1920 • 1911

Ano bom para reformas, melhoramentos e alterações. Para os que tiveram má sorte, será a chance para mudá-la. Tenha postura prudente, sem se prender a aparências e vaidades. Cuidado com dores na articulação, dores lombares e alterações na pressão arterial. Não deve iniciar ou abrir nenhum negócio, fazer mudanças ou viajar por longo tempo.

**Kyushi Kasei:** 2009 • 2000 • 1991 • 1982 • 1973 • 1964 • 1955 • 1946 • 1937 • 1928 • 1919 • 1910

Ano em que será reconhecido aquele projeto ou aquela ideia que vinha desenvolvendo com convicção. Também terá promoção e aumento salarial. Contudo, poderá ter o segredo revelado e resultar em problemas com a justiça ou com o fisco. Cuidado com doença dos olhos. Bom para casamento, ampliações e reformas no imóvel, mudança ou troca de emprego.

**Ippaku Susei:** 2008 • 1999 • 1990 • 1981 • 1972 • 1963 • 1954 • 1945 • 1936 • 1927 • 1918 • 1909

Será um ano difícil em que precisará ajudar e passar por dificuldades. Serão necessárias resignação e perseverança. Contudo, terá sorte com ambientes e oportunidades que propiciarão auto-aprimoramento. A época é para cultivar a curiosidade intelectual e a capacidade econômica. Cuidado com roubos e estelionatos. Não deve realizar ampliações e reformas no imóvel, mudança ou troca de emprego.

**Jikoku Dosei:** 2007 • 1998 • 1989 • 1980 • 1971 • 1962 • 1953 • 1944 • 1935 • 1926 • 1917 • 1908

É ano em que a pressa conduzirá a erros. Não se aventure a fazer coisas às quais não está acostumado ou que não seja de sua especialização. Fixe metas e dedique-se de modo constante. Aumentará situações em que intercâmbios pessoais serão de boa valia para trabalhos públicos. Não se aconselha reformas e ampliações de imóveis, abertura de casas comerciais, mudança de emprego ou de atividade profissional.

**Sanpeki Mokusei:** 2006 • 1997 • 1988 • 1979 • 1970 • 1961 • 1952 • 1943 • 1934 • 1925 • 1916 • 1907

Ano de sorte pulsante, em que avançará com segurança. Será necessária uma postura de envolver-se com sinceridade em ideias novas, coisas e fatos, para realizar seu sonho. Para mudar as diretrizes, seja criativo e elaborado em suas ações. Cuidado com adulações e ambições aventureiras. Bom para casamento, mudança, troca de profissão ou de emprego e abertura de lojas.

**Shiroku Mokusei:** 2005 • 1996 • 1987 • 1978 • 1969 • 1960 • 1951 • 1942 • 1933 • 1924 • 1915 • 1906

Ano de sorte e vantagens. Possibilidade de alcançar metas e objetivos conforme seu esforço. Atue com iniciativa em tudo. Não se prenda a coisas insignificantes. Veja com imparcialidade e aja com bom senso. A imposição dos seus pontos de vista ou o estresse poderá trazer problemas. Bom para casamento, mudança e troca de emprego.

Aos usuários e doadores, agradecemos pela sua cooperação por mais este ano. Pedimos o seu apoio também para o ano vindouro, para que possamos continuar proporcionando boas leituras.

Que o Ano Novo traga bons desafios para aqueles que buscam o aprimoramento intelectual!

# Festival de Canto Coral emociona público presente

Em setembro, a Aliança Cultural Brasil-Japão promoveu a 46ª edição do Festival de Canto Coral, evento tradicional com a participação de 16 grupos de coral infanto-juvenis e adultos, trazendo variados tons e melodias musicais ao Grande Auditório da Sociedade Brasileira de Cultura Japonesa e de Assistência Social (Bunkyo), e recebendo público de duas mil pessoas.

O destaque deste ano foi o Coral Shiinomi Feminino, em sua 46ª apresentação ininterrupta no evento. Outro destaque foi o Coral das Senhoras da Associação Nipo-Brasileira de Araçatuba, completando sua 25ª participação.

## Melodia e Tradição



Erika Yamauti

**Festival de Coral reuniu 16 grupos no Bunkyo e poderá ser reformulado em 2013**

Idealizado em 1967 pelo professor de música Shichiro Onodera e auxiliado pelo maestro Kenichi Yamakawa, o Festival é considerado um dos precursores do gênero e foi organizado pela Sociedade de Difusão

da Cultura Nipo-Brasileira até 1977, quando se tornou responsabilidade da Aliança Cultural Brasil-Japão. A ideia era preservar e difundir o ensino da língua e da cultura japonesa no Brasil.

## Dia do Coração no Conjunto Nacional

Em setembro, foi realizada mais uma edição do Dia Mundial do Coração, no Conjunto Nacional, com o apoio da Aliança Cultural Brasil-Japão e do Hospital do Coração. Durante o evento, foram disponibilizados exames e teste de estresse. A Aliança participou com a aula de origami da professora Mari Kanegae, durante todo período do evento.

Patrícia Isome



**Atividade serviu para divulgar o trabalho da Aliança na sociedade**

## Doação da Sociedade Primavera

Em outubro, na sede da Fundação Kunito Miyasaka, a Aliança Cultural Brasil-Japão recebeu uma doação da Sociedade Primavera de Organização e Seguridade – Primavera Vida Clube, que também realizou doação para outras associações. A Sociedade Primavera foi criada a fim de complementar a assistência médica-social aos funcionários do antigo Banco América do Sul. O fundo constituído tem sido aplicado no mercado financeiro e anualmente, o resultado excedente tem sido doado para as atividades das entidades beneficentes e culturais.

## Visita dos deputados da província de Nagasaki

Os alunos da Aliança receberam a visita dos deputados da província de Nagasaki, Daisuke Kusunoki e Toshiyuki Hamaguchi, que conversaram com os alunos, incentivando o estudo da língua japonesa. Os deputados também conheceram o material didático da Aliança e o método das aulas, e ficaram admirados com o nível do idioma japonês falado pelos alunos. O encontro teve participação da diretoria da Aliança.

## Introdução à Tradução

A Aliança inicia as inscrições para o Curso de Introdução à Tradução e Versão. A prova de admissão de 2013 será realizada no dia 28/01, primeira chamada e, no dia 04/02, segunda chamada, sempre das 19 às 21 horas. A taxa de inscrição é de R\$ 45 e as duas provas serão realizadas na Unidade Vergueiro. As aulas do ano letivo de 2013 iniciam-se no dia 18/02.

Mais informações: [alianca@aliancacultural.org.br](mailto:alianca@aliancacultural.org.br).



Gabriel Inamine

**Curso completou 20 anos em 2010, é o único de idioma japonês no Brasil e contribui para a formação de tradutores**